



## 天気にも左右される？歯の痛み

NO.40

雨が降ると歯が痛くなる？こんな話、信じられないかもしれませんが、雨が降ると歯が痛くなることもあるのです。では、なぜでしょう？

### 気圧とは？

まず気圧を理解しましょう。気圧とは**空気(気体)による圧力**のことで、日常ではあまり感じませんが、空気にも重さがあるのでわたしたちはいつも空気に押されているのです。つまり、気圧は空気の重さによる圧力なので、上についている空気の量により変わります。空気の量が少なくなる、つまり高所にいけば気圧は下がることとなります。

### 起こる変化は？

では、気圧が変わるとどういふ変化が起こるのでしょうか？例えばペットボトルを山の頂上などで飲もうとして、口を開けた途端に中身が吹き出してしまい、もったいない思いをされたことはありませんか？



元々平地の気圧で作られたものが、密封されたまま気圧の低い所へ持っていかれることで、容器の中から外へ圧がかかっている状態となるためです。

今度は歯を考えてみましょう。1本の歯の中には**歯髄(神経)**の入っている「**歯髄腔**」という空洞があり、その空洞は平地の圧力と等しくなっています。ところが短時間に外気の気圧が下がるとその変化に対応できず、一時的にペットボトルと同じ状態になってしまい、その外に向かう圧力が痛みを引き起こしてしまうことがあるのです。

### 歯の痛み

もしむし歯を放置しているとむし歯の空洞ができ、この空洞もペットボトルと同じ状態となります。歯はとても敏感なところですから、環境条件の急激な変化にすぐ反応を示します。とくに飛行機などは山よりもっと気圧の変化が大きく起こるため、この**気圧の変化**がむし歯の血管



にひびいて急に痛みを感じることはあります。気圧のちょっとした変化など大したことではないと思いがちですが、私たちが考えているよりはるかに重大な影響を歯に与えることもあるのです。

また、航空歯痛と呼ばれる歯の痛みもあり、これは上顎洞(かむかむ便りNO. 28)と呼ばれる空洞の空気が膨張するために、それが刺激となり脳に伝わって直接痛みを感じない部位や、以前治療した部位に、神経機構の錯覚によって痛み、関連痛として感じることもあるのです。

### 天気と歯の痛み

雨が降る時のことを考えてみましょう。台風などがその典型ですが、**低気圧**が近づいてくると天気が悪くなり、雨が降ったりしますよね？つまり気圧が普段より下がるということですから、山に登った時と同じような変化が歯に起こってしまう可能性があることとなります。お出かけ中に歯が痛くなると大変ですから、むし歯の治療や定期的な検診をお勧めします。



社団法人

## 柏歯科医師会

Http://www.kamukamu.or.jp

Email:kda@cc.rim.or.jp

